

「経済が伸び悩んでいるのに一万円札や千円札は増え続けているようだ」。所長が情報をもたらした。「最近の大不況でも減らなかったとは思ってですね」。調査のため事務所を出た探偵、深津明日香に、小学生の国本玄輝がついていった。

## お札の量が増え続けているんだって

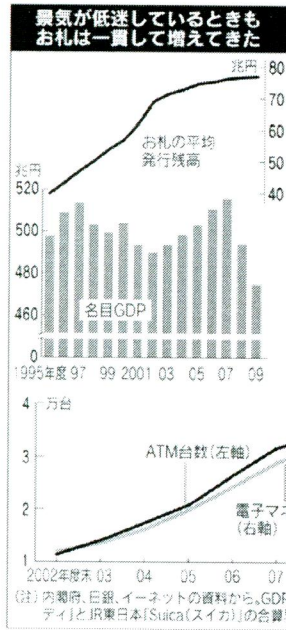
「お金の番人」である日本銀行の統計を調べた。世の中に出回っている現金の量を示す平均流通残高をみると、2000年度から09年度にかけて五円玉が7%減り一万円札は37%増えた。「随分違うね」。玄輝が驚いた。明日香は首をかしげた。「硬貨が減って、お札は増えるのも妙ね。日銀は最近、低い金利で銀行に大量に資金を供給する新手法で金融緩和と呼ばれる政策に一段と力を入れているけど、関係あるのかな」。

「お金の番人」である日本銀行の統計を調べた。世の中に出回っている現金の量を示す平均流通残高をみると、2000年度から09年度にかけて五円玉が7%減り一万円札は37%増えた。「随分違うね」。玄輝が驚いた。明日香は首をかしげた。「硬貨が減って、お札は増えるのも妙ね。日銀は最近、低い金利で銀行に大量に資金を供給する新手法で金融緩和と呼ばれる政策に一段と力を入れているけど、関係あるのかな」。

### 金利の低さ響く

大谷さんは「一万円札を中心に現金を手元に置くタンス預金が積み上がってきまして」と話す。国内総生産（GDP、名目）は1990年代初期のバブル崩壊（GDP、名目）は1999年預金額を制限する仕組みの

後、一進一退となったが、経済が不振の時期でもお札は一貫して増えてきた。これはお札の平均発行残高をGDPで割った年度ごとの値でみるとよく分かる。一部の銀行や証券会社の経営が行き詰まった90年代後半、9%台に高まった。追い打ちをかけたのが「ペイオフ制度」。これは銀行が破綻したときに払い戻す預金額を制限する仕組みの



## 「タンス預金」する人が増加

「お姉さん、何か飲もうよ」。玄輝が自動販売機に電子マネーのカードをかざしジュースを買った。明日香は「電子マネーを利用すれば現金を使わずに買い物ができ、お釣りもない。硬貨が減る説明になる」とび

ことで、02年度から段階的に導入された。これでお金を銀行に預けず、引き出して手元に置く動きが相次いだ。GDPに対する比率はペイオフ導入で14%台に上昇。08年のリーマン・ショックを経て09年度で16%台に達した。大谷さんは続けた。「04年度に3種のお札のデザインが変わりましたが、一万円札は3月末で発行残高の15%にあたる1兆4000億が旧札のままです。大半がタンス預金でしょう」。

「金利が低いままであることも影響しているようだ。預金しても利子があまりつかない。これも現金を手元に置く人が増えた理由ね」。明日香はメモした。

「お姉さん、何か飲もうよ」。玄輝が自動販売機に電子マネーのカードをかざしジュースを買った。明日香は「電子マネーを利用すれば現金を使わずに買い物ができ、お釣りもない。硬貨が減る説明になる」とび

「お姉さん、何か飲もうよ」。玄輝が自動販売機に電子マネーのカードをかざしジュースを買った。明日香は「電子マネーを利用すれば現金を使わずに買い物ができ、お釣りもない。硬貨が減る説明になる」とび

## 電子マネー 予期せぬ影響

らめいたが、再び考え込んだ。「でも、お札も必要なくなる気がする。変ね」。野村総合研究所によると、電子マネーの利用額は09年度が1兆3200億円で前年度より65%増えた。首都圏での保有率は18歳以上の8割を超える。

第一生命経済研究所の飛野英生さん(42)が助け舟を出した。「少額での利用が多い電子マネーが硬貨を2%程度減らしたと思えます」。玄輝が尋ねた。「でもお札は少なからずないんだね」。熊野さんが答えた。

「電子マネーのチャージにお札を使うからだよ」。電子マネーE-dy(エディ)を運営するビッソレット(東京・品川)の伊藤浩さん(46)は「チャージ金額の6、7割はお札が使われています」と語る。1回のチャージ金額は平均5千〜6千円とみられる。一橋大学教授、北村行伸

さん(53)の見方は興味深い。「電子マネーを使い始めても財布の中のお札を減らさない人が多いのでは」。東京・日本橋で、数年前から電子マネーを使う女性会社員(36)が証言した。「所持金は5千〜1万円です。以前と変わっていません」。

クレジッドカードの事情も深かった。カード大手、ジーシービーの門水篤史さん(43)が明かす。「1件あたり利用額は09年度が平均6千円前後で5年前の3分の2になりました」。高額商品はかりを借りるのではないので、一万円札の量を抑える効果は大きくない。

ニッセイ基礎研究所の上野剛志さん(35)が声をかきつけた。「コンビニエンスストアでATM(現金自動預け払い機)が急増中です。中にはお札がたまって、明日香は関心を持った。銀行での台数は頭打ちと聞いただけで、コンビニでは増えているのね」。

セブン銀行は、関連のコンビニを中心に3月末で全国に約1万4600台のATMを設ける。業務推進部の高田雅史さん(42)は「1台平均で2千円前後のお札が入っており、大半が一万円札と千円札です」。

ATM運営会社イーネット(東京・中央)によると、各社が全国のコンビニに置くATMは09年度末で約3万8500台。04年度末の2.2倍だ。1台に2千円分のお札が入っていると仮定すれば、この間にコンビニATMだけ、お札全体の増加分の16%にあたる。

明日香は、玄輝と一緒に事務所へ報告するとほやいた。「給料袋のお札はなかなか増えないのよね」(編集委員 加賀谷和樹)